

Csepel・チェペル

チェペルの基本データ

人口：76 339 人（2009）

面積：25,75 km²

人口密度：2 965 人／km²

地域：ブダペスト 21 区

県：ブダペスト、ペスト県



チェペルは島だから入るのはちょっと難しい。ブダペストの下町にある **Boráros tér** から「Csepeli HÉV」という緑の電車で入るのが一番簡単である。（**Boráros tér** までは市電 4 番と 6 番で行ける。）

車だと北から **csepeli bekötőút** という道を通って、東から **Gubacsi-híd** という橋を渡って、南から **M0** という高速環状道路を通って入ることができる。



チェペルの歴史

ハンガリーの歴史で有名な戦いである **Mohács 戦闘** は 1526 年にあった。この戦いでハンガリーはトルコに敗戦した。（この戦いはハンガリー王国軍とオスマン帝国軍による会戦だった。オスマン帝国の損害は 2000 人だったが、ハンガリー王国の損害は 20000 人だった！戦いの場所はモハーチ平原であった、モハーチは今もハンガリーの一部である。）それ以前にも 1270 年から 1272 年までハンガリーの王であったイシュトバーン 5 世が同じように、この島に療養に着たが、結局この島で亡くなってしまった。その後、2-3 世紀間王がこの島に休みに来た。

1541 年にトルコ人がこの島を征服した。トルコ軍が撤退した後の 1712 年にチェペルがつくられ、ドイツ人が住む村になった。

しかし 1832 年に雪解け水による洪水で、チェペルはもう一度滅びた。このため新しい村をつくらなければならなかった。そして、この村は工業村になった。一番目の工場は 1893 年に建てられた。工業だけが建てられた区域もつくられた。この **Csepel Művek / Csepel Gyárváros** という地区は今も残っている。

HÉV の **Szent Imre 広場** 駅がこの地区の近くにある。（現在、**Szent Imre 広場** はチェペルの中心である。）現在、多くの工場が廃墟になっている。しかし、**Csepel Művek** が動いていたときは、例えば **Csepel 自転車** や **Csepel 貨車** など多くの有名な製品を作り出した。更に軍需産業も有名であった。

チェペルに生まれた有名人

コロニチ・ジョージ Kolonics György

カヌー選手。オリンピックで金メダルを取った。(1996年、2000年)

ホルバート・チャバ Horváth Csaba

カヌー選手。1996年のオリンピックでコロニチ・ジョージのチームメートだった。

コーバン・リタ Kőbán Rita

カヌー選手。オリンピックで金メダルを取った。(1992年、1996年)

バルツオー・アンドラーシュ Balczó András

近代五種の選手。オリンピックで金メダルを取った。(1960年、1968年、1972年)

ウェイッス・マンフレード Weiss Manfréd

ハンガリーの実業家。チェペルの二度目の再構築の時には一番大きな工場を建てた。

コワーチ・ヨーゼフ Kovács József

1946年に生まれで、まだ現役の、国際的に有名なオペラ歌手である。



チェペルの名所

Csepel Gyárváros –チェペル

工業地区は観光客にはあまり人気はない。しかし、この場所は「生きる歴史」と呼べる。

HÉVの Szent Imre 広場駅から Gyárváros の門が見える。

この門を通過すると、道や建物など、すべてが古くなる。

廃墟となった工場や郵便局、レストランなどが見える。道はまるで迷路のようだ。



Szent Imre 広場

Szent Imre 広場はチェペルの中心だ。

HÉVの一番大切な駅がこの広場にある。

そして、あらゆるバスのバス停は HÉV 駅のとなりある。

チェペルで一番大きな郵便局や一番大きな遊び場や一番大切な教会などが Szent Imre 広場にある。

チェペルの役所も Szent Imre 広場にある。



Kis-Duna-part

チェペル島の西にはドナウ川が流れている。

しかし、チェペル島の東にはもっと小さい Kis-Duna 「小さいドナウ川」という川がある。

71番や148番や151番のバスで小さいドナウ川岸に行ける。川岸に沿って続く道は非常にきれいだ。となりの区、Soroksárへ148番のバスの終点からフェリーが動いている。

レストラン、ホテル

チェペルにたくさん有名なレストランがある。以下、私のお気に入りのレストランを選んで書く。しかし、チェペルにホテルがあまりないで、1つだけ紹介する。

レストラン

La Guna Étterem・ラグーナレストラン

宛先：1215 ブダペスト、Bajcsy Zsilinszky（バユチ・シリンスキ）通り 47

電話番号：+361 787-9522

ラグーナレストランはチェペルで一番有名なレストランである。HÉVのKarácsony Sándor（カラーチョニ・シャーンドル）通り駅に近くにある。

Pusoma・プショマ

宛先：1213 ブダペスト、Hollandi（ホッランヂ）通り 141

電話番号：+361 420-9312

プショマレストランは小さいドナウ川岸の近くにある。環境も見晴らしも非常にきれい。

Nagy Levin・ナジレビン

宛先：1214 ブダペスト、II. Rákóczi Ferenc（マーソヂク・ラーコーツイ・フェレンツ）通り

電話番号：+361 278-0694

ナジ・レビンは作家レイトール・イエノー（Rejtő Jenő）の一番奇怪な品性が表現されたレストランである。レイトール・イエノーはハンガリーに生まれた非常に有名な作家であった。このレストランはレイトール・イエノーを記念して営業している。

Haspók kifőzde・ハシポーク食べ物屋

宛先：1211 ブダペスト、Táncsics Mihály（ターンチチ・ミハーユ）通り

電話番号：+3670 389-3772

ハシポーク食べ物屋はチェペルのGyárvárosにある。昔、この食べ物屋は工業員専用の食堂であった。しかし、現在は誰でも入れる。

ホテル

Botel Hotel・ボテルホテル

宛先：1212 ブダペスト、Parti sétány（パルチ・シェータニ）1

電話番号：+361 277-0866

ボテルホテルは本物の船でできたホテルである。HÉVのSzent Imre 広場駅に近くある。



チェペルの歩き方

HÉV から Szent Imre 広場駅で降りたらチェペルの中心に歩いてみよう。HÉV 駅のとなりに Szent Imre 広場の公園がある。この公園の HÉV 駅の反対側にメインのバス停がある。ここから 148 番のバスにのると、終点に小さいドナウ川がある。小さいドナウ川のとなりの道は Hollandi 通りである。Hollandi 通りに有名なレストラン Pusoma がある。レストランで食事した後、Hollandi 通りの反対側に 151 番のバス停の終点がある。それに乗ると Szent Imre 広場に帰れる。Szent Imre 広場の近くにはチェペル工業郡の門もある。チェペル工業郡は非常に大きい所で、特に歩き方はないがチェペルの古きよき時代が楽しめる。Szent Imre 広場の近くにある門は正門だが、その他の門の近くには、バス停があるので門めぐりをするのも楽しい。門の前で止まるすべてのバスは Szent Imre 広場に帰る。

